



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社 PALTEK

上場取引所 東

コード番号 7587 URL <https://www.paltek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役オペレーショナルサービス
ディビジョン本部長 (氏名) 井上 博樹

TEL 045-477-2000

四半期報告書提出予定日 2020年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	8,756	23.1	212	155.2	145		73	
2019年12月期第1四半期	7,114	18.6	83	60.3	5		15	

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 71百万円 (%) 2019年12月期第1四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	6.68	
2019年12月期第1四半期	1.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	17,055	9,493	55.7
2019年12月期	16,069	9,531	59.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 9,493百万円 2019年12月期 9,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		10.00	10.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	8.1	240	288.5	150	140.1	80	238.9	7.30
通期	29,500	3.0	300	21.9	220	13.6	150	51.6	13.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	11,849,899 株	2019年12月期	11,849,899 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	895,882 株	2019年12月期	895,882 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	10,954,017 株	2019年12月期1Q	10,954,105 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付書類3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、景気減速を強めています。インバウンド需要の急減と世界経済の下振れによる輸出の大幅減少、外出自粛により個人消費も急速に悪化している状況です。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においても、世界的な感染拡大を受けグローバル経済が急速に縮小するなか、自動車・機械・電機など輸出企業を中心に製造業にも業績悪化懸念が広がっています。

このような事業環境のなか、当社グループは基軸となる半導体事業で安定的な収益を上げるべく取り組む一方で、収益性の高いデザインサービス事業では案件の開拓や新製品の市場投入、そして当社グループが培ってきた技術サポート力や設計開発力などをベースにした新規事業の立ち上げや、社会課題に対して解決につながる新規事業の立ち上げなどを引き続き取り組んでまいりました。

(半導体事業での取り組み)

半導体事業においては、5G関連の通信インフラや計測機器、ファクトリーオートメーション、医療機器向けなどにFPGA(※1)やメモリ、特定用途IC、アナログICなどの半導体製品の販売に努めました。このほか、人工知能のパッケージを開発・展開する株式会社ハカルスとボックスPCを活用して「外観検査サービスSPECTRO by HACARUS」の提供を新たに開始しました。

(デザインサービス事業での取り組み)

デザインサービス事業においては、通信機器、産業機器、医療機器、航空/宇宙向けなどに設計受託およびODM(※2)を提供するほか、エッジコンピューティングなどの高速データ処理を実現するFPGAコンピューティングプラットフォーム「M-CUBE」の販売を開始しました。

(ソリューション事業での取り組み)

ソリューション事業においては、社会的な課題解決に沿うようなソリューションの開拓、展開を行っています。より多くの人が働ける環境を提供するために活用できる作業支援アシストスーツ「マッスルスーツ」については、体験会などを通して積極的にプロモーションを行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でプロモーションを縮小せざるを得なくなりました。その一方で、新たに取り扱いを開始した空間除菌システムについては多数の問い合わせをいただいています。また、プラスチック製梱包資材の使用量削減を促進する紙資材梱包システムについては、導入いただけるお客様は引き続き増加しています。

(業績結果)

売上高は87億5千6百万円(前年同期比23.1%増)となりました。半導体事業については、海外の携帯情報端末向けのメモリ製品、放送機器および通信機器向けのFPGAなどが堅調に推移したことを受け、同事業の売上高は79億7千万円(前年同期比24.9%増)となりました。デザインサービス事業については、通信機器および医療機器向けが増加したことにより、同事業の売上高は5億3千万円(前年同期比13.5%増)となり、ソリューション事業については、映像配信システムおよび紙梱包資材システムの販売が増加したものの、乳幼児見守りシステムなどの販売が減少したことにより、同事業の売上高は2億5千5百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

営業利益については、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加や仕入値引ドル建債権の評価額がプラスになったことなどにより、2億1千2百万円(前年同期比155.2%増)となりました。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、為替差損が5千6百万円発生したことなどにより、経常利益1億4千5百万円(前年同期は経常損失5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益7千3百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千5百万円)となりました。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと。

(※2) ODM(Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと。

(2) 財政状態に関する説明

① 財務状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億8千5百万円増加し170億5千5百万円となりました。これは主に現金及び預金、未収入金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、未収消費税等が増加したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ10億2千3百万円増加し75億6千1百万円となりました。これは主に未払金が減少した一方で、借入れを実施したこと、および、買掛金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円減少し94億9千3百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払いを実施したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億6千7百万円減少し、26億6千4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権および未収消費税等が増加したことなどにより、20億4千6百万円の支出（前第1四半期は9億1千6百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産および無形固定資産を取得したことなどにより、1千4百万円の支出（前第1四半期は4百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払いを実施した一方で、短期借入れを実施したことなどにより、8億9千7百万円の収入（前第1四半期は3億5千2百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、第1四半期における業績結果が想定を上回って推移したことを受け、2020年5月8日に連結業績予想を修正しております。詳細は、以下のとおりです。

(第2四半期（累計）連結業績予想について)

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は半導体事業において5Gインフラの通信機器、計測機器向けなどへのFPGAの販売や海外の携帯情報端末向けへのメモリ製品の販売が想定よりも堅調に推移することが見込まれるため、売上高は増加する見通しです。

営業利益につきましては、売上高増加に伴い売上総利益が増加することに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で複数の展示会への出展が中止になるなど販売費及び一般管理費が想定よりも下回ることが見込まれるため、営業利益は増加する見通しです。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の増加に伴い、想定を上回る見通しです。

(新型コロナウイルス感染症拡大に関する影響について)

当社グループは、エレクトロニクス製品を開発しているメーカーに半導体や関連製品の販売、設計受託やODMの提供などを主要な事業としています。そのため、新型コロナウイルス感染症拡大抑制のための自粛状況ではありましたが、第1四半期においては、製造フェーズにあるお客様への半導体の販売などで売上高は堅調に推移しました。

しかしながら、今後を見据えると業績への影響が生じてくることが想定されます。

当社グループでは売上高の6割以上が産業機器関連のお客様になります。その分野によって影響の度合いは異なり、医療機器分野ではそれほど大きな影響は受けないと想定されます。その一方で、世界的な景気の減退が想定され、設備投資に対して慎重姿勢が広がることが懸念されるため、ファクトリーオートメーションや計測機器、放送機器など設備投資に関連する分野への影響は大きいと考えられます。また、お客様の業績も低調に推移する場合、設計開発の外部への委託が減少することも考えられ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(通期連結業績予想について)

上記のような理由により、通期連結業績予想につきましては、現時点では見通すことが困難であるため、2020年2月10日に発表した業績予想数字から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,831,632	2,664,016
受取手形及び売掛金	6,589,564	7,908,646
商品	2,915,556	3,079,189
前渡金	2,353	7,426
未収入金	952,318	332,649
未収還付法人税等	19,335	19,137
未収消費税等	1,146,294	2,353,805
その他	58,211	89,432
貸倒引当金	△1,482	△1,677
流動資産合計	15,513,783	16,452,626
固定資産		
有形固定資産	156,603	158,401
無形固定資産		
のれん	10,403	9,660
その他	34,204	47,591
無形固定資産合計	44,608	57,252
投資その他の資産		
その他	354,967	387,451
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	354,836	387,320
固定資産合計	556,048	602,974
資産合計	16,069,832	17,055,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,071	1,395,451
短期借入金	3,680,000	4,680,000
未払金	1,445,122	928,550
未払法人税等	41,030	93,543
賞与引当金	57,374	153,590
その他	231,850	79,978
流動負債合計	6,318,449	7,331,114
固定負債		
退職給付に係る負債	16,016	27,753
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	46,458	45,367
固定負債合計	219,975	230,620
負債合計	6,538,425	7,561,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,556	2,698,556
利益剰余金	5,980,391	5,944,054
自己株式	△481,902	△481,902
株主資本合計	9,536,681	9,500,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	207
繰延ヘッジ損益	△1,380	△2,403
為替換算調整勘定	△4,142	△4,282
その他の包括利益累計額合計	△5,273	△6,477
純資産合計	9,531,407	9,493,866
負債純資産合計	16,069,832	17,055,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,114,911	8,756,882
売上原価	6,227,546	7,683,282
売上総利益	887,364	1,073,599
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	312,413	332,982
貸倒引当金繰入額	△158	195
賞与引当金繰入額	96,561	95,353
賞与	1,582	528
退職給付費用	△4,447	22,069
賃借料	39,511	39,906
のれん償却額	743	743
その他	358,092	369,800
販売費及び一般管理費合計	804,298	861,580
営業利益	83,066	212,018
営業外収益		
受取利息	571	357
受取配当金	80	40
消費税等還付加算金	1,028	1,451
その他	389	10,509
営業外収益合計	2,069	12,357
営業外費用		
支払利息	3,767	8,282
支払手数料	2,165	1,899
為替差損	72,343	56,481
売上債権売却損	9,166	9,638
その他	3,377	2,621
営業外費用合計	90,819	78,923
経常利益又は経常損失(△)	△5,683	145,453
特別利益		
固定資産売却益	—	571
特別利益	—	571
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,683	146,024
法人税、住民税及び事業税	39,585	105,493
法人税等調整額	△29,352	△32,671
法人税等合計	10,232	72,821
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,916	73,202
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,916	73,202

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,916	73,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△41
繰延ヘッジ損益	△123	△1,022
為替換算調整勘定	△222	△139
その他の包括利益合計	△347	△1,203
四半期包括利益	△16,264	71,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,264	71,998
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,683	146,024
減価償却費	9,076	11,164
のれん償却額	743	743
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△158	195
賞与引当金の増減額(△は減少)	97,470	96,215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,780	11,736
受取利息及び受取配当金	△571	△397
支払利息	3,767	8,282
為替差損益(△は益)	40,700	△23,785
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△571
売上債権の増減額(△は増加)	101,006	△1,320,380
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369,568	△169,110
仕入債務の増減額(△は減少)	154,081	534,322
前渡金の増減額(△は増加)	47,876	△5,073
前受金の増減額(△は減少)	△56,368	450
未収消費税等の増減額(△は増加)	△13,860	△1,684,339
未収入金の増減額(△は増加)	905,331	631,976
未払金の増減額(△は減少)	△344	△47,795
その他	39,434	△161,806
小計	937,153	△1,972,147
利息及び配当金の受取額	571	397
利息の支払額	△3,831	△9,746
保険金の受取額	—	34
和解金の支払額	—	△16,148
法人税等の還付額	—	1,191
法人税等の支払額	△17,516	△50,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	916,376	△2,046,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△777	△9,721
無形固定資産の取得による支出	△3,675	△4,731
貸付けによる支出	—	△100
その他	△96	261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,549	△14,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,000	1,000,000
配当金の支払額	△101,686	△101,362
リース債務の返済による支出	△1,118	△1,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352,805	897,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,698	△4,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	574,720	△1,167,616
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,225	3,831,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,598,945	2,664,016

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。